

おもいやり通信

発行:社会福祉法人 清水保育園
幼保連携型認定こども園 清水こども園
発行日:平成 30 年8月6日

第31号



今年の夏は記録的な酷暑となり、熱中症の心配が絶えませんが、プール遊びや水遊び、泥んここと日に日にダイナミックに、子どもたちは暑さにも負けずに毎日元気いっぱい目を輝かせて過ごしています。

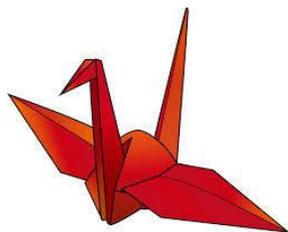
プール遊びが始まり、水の中を歩いたり、水を掛けあったりしている子ども達の楽しそうな声が聞こえてきます。プール遊びの約束をその都度伝えていますが、どうしても楽しくなるとテンションが高くなってしまい、ついルール違反をしてしまう子も・・・そんな時、周りの子が優しく教えてあげている姿を見ると「思いやりがあるなあ〜!」と感じます。また、日ごろの活動の中でも、お友だちの行動に「あ〜今の思いやりがない!」なんて言葉を掛けている姿を見ると思わずクスッと笑ってしまいます。みんなが思いやりある行動をとれると、言い争いもケンカもなくなりますね。



<心を込める・心を送る活動展開>

「おもいやり千羽鶴」

を完成させよう!



1回目の思いやり千羽鶴の提出、ありがとうございました。お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃんが折ってくれたと子どもたちが嬉しそうに話してきました。ありがとうございました。完成した千羽鶴を卒園式で飾りたいと思いますので引き続きご理解とご協力をお願いします。6月に開催した「わくわくフェスティバル」でも沢山の思いやり鶴が出来上がりました。

ご家庭へのお願い

思いやり集会が行われる週(6・9・11・2月)を思いやり週間とし、鶴の提出を呼びかけます。各クラスのカラーの折り紙を使用し、基本、思いやり集会当日に子どもたちが折れるところまで折り、夕方、個人の専用の袋に入れて保護者へ渡します。保護者が続きを折り進め鶴を完成させ、羽の部分に心を込めた思いやりメッセージを記入して1週間の間に提出していただきたいと思ひます。

みんなの力を結集し、心のコもった千羽鶴を!

思いやり集会で心も笑顔になりました

6月25日(月)に今年度1回目の思いやり集会を行いました。今回は園長先生の話、おもいやりのうた合唱の後、各クラスの心温まる思いやりエピソードを発表してもらい、温かい気持ちになりました。

最後に、日頃見られる色々な行動を職員が演じ、思いやり〇×ゲームを行い、思いやりについて考え楽しみました。



<おもいやりテーマ>

年間を通して実践していきましょう

思いやり3原則(手伝う・励ます・ありがとう)

- ①手伝う(他の人のために喜んで手伝おう)
- ②励ます(元気づけよう、応援しよう、優しい心を送ろう)
- ③ありがとう(感謝の心でありがとうを伝えよう)



わくわくフェスティバルでの千羽鶴コーナー



出来上がった鶴は現在300羽です

おもいやり集会での〇×クイズの内容

<〇×クイズ>

第1問 (テーマ) ☆**ありがとう・ごめんなさいを伝える事** (演技担当:馬場t、市場t)

馬:よーし、お外に遊びに行こう! (ハンカチを落とす)
市:あれ、今ハンカチ落としたみたい… よし! 拾ってあげようっと!
ねえねえ、ハンカチ落としたよ! はい、どうぞ。
馬:わあ、助かったよ、どうもありがとう!

答え ○

馬:よーし、たくさん遊ぶぞ〜! (走る→市場tにぶつかる)
市:わ、痛い…。
馬:あ、ぶつかっちゃった…。ごめんね…。
市:うん。いいよ、大丈夫だよ。



第2問 (テーマ) ☆**おもちゃを独り占め、遊びに入れてくれない** (演技担当:園長t、美佐子t)

園:やったー! 今日はブロックがあるぞ〜!
ブロックでお家を作りたいからたくさん使おう!
(独り占めする)
美:あれ、私もブロック使いたいのこれしか使えない、どうしよう…。
(2, 3個のブロックしかない)
よし、じゃあ私も入れてもらおう。ねえねえ、私もおうちづくりに入れて!
園:えー嫌だよ。僕一人で作りたいもん。



答え ×

第3問 (テーマ) ☆**順番を抜かしたり、守らなかつたりする** (演技担当:市場t、美佐子t)

市:よーし、次は給食だ! トイレに行ってください! (並ぶふりをする)
美:なんだかトイレに行きたくなっちゃったなあ。行ってみよう。
あれ、なんだかみんな並んでる。
早く行きたいから抜かしちゃえ! (市tの前に行く)
市:あー! 私今並んでるのに! 抜かさなでよ!
美:だって並びたくないし、早く行きたいんだもん、別に良いでしょ!!



答え ×

第4問 (テーマ) ☆**困っている友だちに優しい言葉を掛ける** (演技担当:園長t、馬場t)

馬:あ〜、お外で遊ぶのは楽しいなあ〜! (走っていると転んでしまう。泣いてしまう)
園:あれ、こんなところで泣いている…。どうしたんだろう…。
ねえねえ、どうしたの? 大丈夫?
馬:ぐすん…。実はね、お外で走っていたら転んじゃって足が痛い…。
園:ええ! それは痛かったね、大丈夫? 今、先生を呼んでくるね!



答え ○

ちょっといい話

新聞で素敵な思いやりについての記事を見つけました。
集会の始めに子どもたちに紹介しました。

〜深い感謝に感謝したい〜

先日駅で、たくさんの荷物を抱えてエスカレーターに乗ろうとしている年配の女性を見かけた。

とても大変そうだったので声をかけ、女性が乗り換える電車の改札口まで、荷物を持って同行することにした。



ほんの 50 秒ほどの距離で、たいしたことではなかった。それなのに女性は、運んでいる間中、「本当にありがとうございます。とても助かります」「お茶でよければ受け取ってもらえませんか」「荷物の中にお菓子とお弁当が入っているので食べませんか」などと、こちらが恐縮してしまうほどに、丁寧に感謝の言葉をかけてくれた。

気持ちだけいただき、笑顔で女性を見送ることにした。日々の生活の中で、これほどまでに感謝されることはそうそうないので、とてもうれしかった。そして、優しさは受け取るものではなく、分け与えるものだ実感した。

大切なことに気付かせてくれた^あ^り^が^と^うに感謝したい気持ちでいっぱいだ。今後もし、思いやりを持って生きていきたい。

(神奈川県藤沢市・29歳)

